

当院でご加療中の方へ

研究課題「画像処理ソフトを用いた尿蛋白分画の定量的評価法の開発」について

当院では患者さんから採取させて頂いた検体を使用して、以下に挙げるような解析を行っています。

【研究課題】

画像処理ソフトを用いた尿蛋白分画の定量的評価

【研究機関名及び研究責任者氏名】

この研究が行われる研究機関と研究責任者は次に示すとおりです。

研究機関 静岡済生会総合病院 血液内科

研究責任者 医長 海老澤和俊

担当業務 データの保管・管理、検査結果の解析、統計解析

【研究期間】

倫理委員会承認日より令和12年5月30日まで

【対象となる方】

2020年1月1日以降に当院にて尿蛋白分画、尿蛋白免疫固定法の検査を実施した患者様（入院、外来問わず）

【研究の目的】

尿蛋白分画の測定は、多発性骨髄腫やALアミロイドーシスといった血液がんの評価や、腎炎症候群の評価において重要かつ基本的な検査です。しかし、本検査を院内で実施することは大学病院等の一部の大病院以外では難しく、多くは外部の検査会社に委託して実施されています。しかしコストの関係から本検査の委託を中止する会社も出てきており、臨床上大きな問題となっています。尿蛋白の免疫固定法という別の検査で得られる画像の一部を処理して、尿蛋白分画の検査を擬似的に再現できる可能性があり、その手法の開発および評価を行うことが本研究の目的となります。

【研究の方法】

この研究は、当院倫理委員会の承認を受けて行うものです。これまでの診療でカルテに記録されている血液検査や尿検査結果、画像検査、病理検査、骨髄検査、リンパ節検体、造血器疾患の病変を含む胸水、腹水やその他の手術検体などのデータを収集して行う研究です。特に患者さんに新たにご負担いただくことはありません。

【個人情報の保護】

この研究に関わって収集される試料や情報・データ等は、外部に漏えいすることのないよう、慎重に取り扱う必要があります。

あなたの情報・データ等は、解析する前に氏名・住所・生年月日等の個人情報を削り、代わりに新しく符号をつけ、どなたのものか分からないようにした上で、当院において管理責任者が、施錠を受けた部屋で厳重に保管します。必要な場合には、当院においてこの符号を元の氏名等に戻す操作を行い、結果をあなたにお知らせすることもできます。

★この研究のためにご自分のデータを使用してほしくない場合は主治医にお伝えいただくか、下記の連絡先までご連絡ください。ご連絡をいただかなかった場合、ご了承いただいたものとさせていただきます。

研究結果は、個人が特定出来ない形式で学会、学術誌等で発表されます。収集したデータは厳重な管理のもと、研究終了後5年間保存されます。なお研究データを統計データとしてまとめたものについてはお問い合わせがあれば開示いたしますので下記までご連絡ください。ご不明な点がございましたら主治医または研究事務局へお尋ねください。

本研究に関わる資金提供はございません。

尚、あなたへの謝金はございません。

2026年3月

【問い合わせ先】

静岡済生会総合病院 血液内科 医長 海老澤和俊

電話：054-285-6171

Eメールでのお問い合わせ：・・・・・k181251●siz.saiseikai.or.jp

(●を@にしてください)